

出 前 講 座 概 要

経 済 経 営 学 部 K

2025/5/30

講座No. K01-1	古代エジプト文明の魅力
講座No. K01-2	エジプト発掘最新レポート ～エジプト調査半世紀の歩み～
講座No. K01-3	比較文明からみた日本文明
講座No. K01-4	今大学教育を考える
講座No. K01-5	夢を実現したい君たちへ ～君たちのエジプトを見つけよう～
担当講師	総長 吉村 作治
専門	エジプト考古学、比較文明学、比較文化学、お祭り学、教育論、マネジメント学
講義形式	講義・講話
講義時間	60 分・90 分
受講対象	高校生・中学生・行政・地域
講座概要	考古学といいますと古いものについて話をすると思われがちですが、実は未来学なのです。未来はあるものではなく、作るものですから、その根拠は過去にあるのです。 そして、学問はまず自分が何をやりたいかを決めなければなりません。 そのために、自種（夢）をもち、やり方をマネジメントして、実行するのです。 その上ひとつの合理性にこだわりつづけると 他が見えませんので、他との比較が必要となります。学問とはオールラウンドではないしそれぞれです。 私の半世紀を超えるエジプト調査の体験を通しての哲学や法則をわかりやすく解説しながら、そこにある人間の営みを語ります。 備考： 出講日時についてのご願いとしては、教授会など既に会議が入っている場合もありますのでその節は再度ご依頼下さいますようお願い致します。出来れば第1希望～第3希望の日時を提示して頂くと助かります。ご希望に添えなかった場合は、ご承知願います。

講座No. K02	コミュニケーションって何だろう？
担当講師	経済経営学部 福迫 昌之
専門	コミュニケーション論、マス・コミュニケーション論、地域社会論、地域経済論
講義形式	講義・講話
講義時間	ご相談に応じます
受講対象	高校生・小中学生・企業・行政・地域・その他
講座概要	現代社会で最も必要とされる能力は「コミュニケーション能力」です。 その能力向上のためには経験や訓練、技術の向上 も大事ですが、何よりもコミュニケーションについて理解することが重要です。 誰もが出来て当たり前のはずのコミュニケーションの能力向上が求められる背景には、この理解不足があります。 情報社会の進展で、コミュニケーションツールは多種 多様に進化している一方で、若者の「コミュニケーション力不足」が叫ばれています。 まずはコミュニケーションとは何か、 から考えましょう。

講座No. Ⅸ03-1	グローバル化の課題とローカリゼーション ～経営戦略～
講座No. Ⅸ03-2	人工知能ってなんですか？ ～情報学～
講座No. Ⅸ03-3	人は何で仕事をするのか？ ～組織行動論の視点より～
講座No. Ⅸ03-4	やさしい経営学のすすめ ～経営学～
講座No. Ⅸ03-5	映画に見る人の生き方・在り方 ～ライフ・プランニングの視点より～
担当講師	経済経営学部 三重野 徹
専門	経営分野、情報分野
講義形式	講義・講話
講義時間	60 分
受講対象	高校生・企業・行政・その他
講座概要	1 グローバリゼーションの課題とローカリゼーション ～経営戦略～ 今日は既にグローバル化された社会である。ローカルとの融合をいかに成していくか、事例を交えて解説します。
	2 人工知能ってなんですか？ ～情報学～ 現在は第三次 AI ブーム。でも、現実にはできることはこのレベルのこと。誤解を解こう。
	3 人は何で仕事をするのか？ ～組織行動論の視点より～ 人は何で仕事をするのか？いかにモチベーションを上げることができるか？ 今日の組織行動論までを含めて、解説します。
	4 やさしい経営学のすすめ ～経営学～ 経営学と経営の違い。経営学の概要などやさしく解説します。
	5 映画に見る人の生き方・在り方 ～ライフ・プランニングの視点より～ 人的資源管理の在り方が働き方改革で変わっていきます。 求められているのはライフ・プランニングを考えての、キャリア・プランニングです。 映画の主人公たちの生き方を例にして一緒に考えてみましょう。
	備考：他にもリクエストに応じていろいろできますので、ご相談ください。 自動車の運転免許も自動車も持っていないので、遠方は送迎付きでないと対応できません。

講座No.04	貿易の理論 ～「比較優位の原理」ってなに？～
担当講師	経済経営学部 河合 伸
専門	理論経済学
講義形式	講義・講話
講義時間	40分
受講対象	高校生
講座概要	貿易が起こる要因について、リカードの「比較優位の原理」を中心に解説します。 そこから、自分の得意分野の能力を磨いて交換することの重要性を認識してもらいます。
	備考：「貿易の理論」については、高校での模擬授業の際に行ったものをベースに展開します。 パワーポイント、DVD 教材も活用します。木曜日であれば比較的対応できます。

講座No. Ⅸ05-1	日本と中国にある同形漢字の落とし穴
講座No. Ⅸ05-2	毛沢東・鄧小平・習近平時代の中国事情
講座No. Ⅸ05-3	文化的ロゴから考える中国の文化
担当講師	経済経営学部 田村 立波
専門	言語文化交流論、アジア事情、異文化理解（中国）
講義形式	講義・講話
講義時間	60分・90分
受講対象	高校生・企業・行政・地域
講座概要	1 日本と中国にある同形漢字の落とし穴 漢字は中国から伝わってきた表意文字です。そういうわけで日本語にも中国語にも全く同じ漢字ことばがあります。ところが、私たちが何気なく使っているその漢字ことばは日本と中国とでは大きく意味が違うものがあります。 それらのことばをピックアップして説明することによって、両国における言語文化の異同を理解します。
	2 均富論と先富論に見る現代中国事情 5年に1度の中国共産党大会で2期目の習近平政権がスタートしました。 習近平の名を冠した思想も先代の指導者である毛沢東と鄧小平に並んで党規約に書き込まれることになっています。 1949年建国以来の中国は、毛沢東・鄧小平・習近平時代を歩んできていると大きく捉えることができます。 それぞれの時代背景についての分析や説明を通して、現代中国に対する理解を深めることを目指します。
	3 均富論と先富論に見る現代中国事情 ブランディングに文化的要素が大いに影響を与えます。中国におけるブランディングを考える際にどのような文化的要素に注意すべきか、これまでの成功例、失敗例を踏まえて分析を試みます。

講座No. Ⅸ06	人の吐く息を情報処理すると何がわかるのか？
担当講師	経済経営学部 二見 順
専門	情報処理、データ解析、呼気分析、応用健康科学
講義形式	講義・講話
講義時間	60分
受講対象	高校生・地域
講座概要	人の吐く息（呼気（“こき”と読みます））には様々な生体情報が含まれています。 実は、ダイエットが正しく行われているかなどのエネルギー消費量に関すること、 胃がんの原因となるピロリ菌に感染しているかどうかなど、様々なことがわかるのです。 しかも息を吐くだけなので、まったく痛みありません。呼気の情報処理について紹介します。 講義では数式（微分）を使いますが、なるべくわかりやすく説明します。

講座No. Ⅸ07	韓国社会の見方
担当講師	経済経営学部 山田 紀浩
専門	行政学（特に日本と韓国の地域社会の比較研究）
講義形式	講義・講話
講義時間	60 分
受講対象	高校生・地域
講座概要	明治維新は数十年で国体の大改造を行った革命であり、世界史上の大快挙と評されるが、それから遡ること約 500 年、14 世紀末期に朝鮮半島において、統治思想の大転換による国造りれ、がなさがそれが現代の韓国朝鮮社会にも大きく影響を与えていることはあまり知られていません。 本講座では朝鮮半島での当時の思想家の国造りに対する思いを検討し、現代の韓国社会を見る上で底辺で受け継がれ影響を与えているものは何かについて考えます。

講座No. Ⅸ08-1	自分理解と他者理解のための心理学入門
講座No. Ⅸ08-2	やる気はどこからくるの？（無気力の本質、無気力を克服するためには？）
講座No. Ⅸ08-3	楽しく人間関係を築くためのトレーニング（交流分析を学ぶ）
講座No. Ⅸ08-4	どうほめるか・どうしかるかー学習心理学の基礎について学ぶ
講座No. Ⅸ08-5	学校・会社・家庭における教育心理学の応用と実践
担当講師	経済経営学部 李 和貞（イ ファジョン）
専門	心理学、教育心理学、発達心理学、臨床心理学、語学教育（韓国語入門と会話）
講義形式	講義・講話
講義時間	40分～90分（ご相談に応じます）
受講対象	高校生・小中学生・企業・行政・地域・保護者・その他
講座概要	心理学は人間の心の行動についての学問であり、自分と他人を正しく理解するためにも学ぶべき重要な内容となります。正しい自己理解は正しい他者理解に繋がります。自己否定を続けると他者否定にも繋がり、自己肯定感は他者肯定感のベースとなり、自己への歪んだ自己理解は偏った他者理解を招いてしまいます。 講義では心理学の内容に基づき、心理学の幅広い領域をご応法に応じてセッティングします。 また長年の心理相談・カウンセリングとしての経験を生かして正しい自己理解のための方法などを講義、実践できるセルフケアの方法について様々な人間関係の葛藤を中心にそのアプローチを試みながら解決へのアプローチについて紹介し、交流分析を応用し自己と他者理解への機会を提供します。その他、韓国語の文字と文法と中心に、教育心理学の教授法を応用しながら楽しく授業を展開します。 備考： 韓国ソウル出身、心理系講義（20年以上） 心理相談（15年以上）、公認心理師

講座No. Ⅸ09-1	柔道を楽しむために
講座No. Ⅸ09-2	柔道の技を考える
担当講師	経済経営学部 大関 貴久
専門	柔道指導、地域スポーツ振興、柔道国際交流
講義形式	演習・体験
講義時間	120 分
受講対象	小中学生
講座概要	体験型の講座です。参加者全員考え実際に行うことで、今後、自分自身の探求心を養います。 安全を前提に柔道の練習を指導します。

講座No. Ⅸ10-1	コーディネーショントレーニング（くねくね体操）をやってみよう
講座No. Ⅸ10-2	スポーツコーチングとは、部活動地域展開のために
講座No. Ⅸ10-3	パラスポーツをやってみよう
講座No. Ⅸ10-4	健康について考えよう（健康教育、運動指導、食育、体組成測定などを含む総合的な健康マネジメント）
講座No. Ⅸ10-5	防災教育、災害時にとるべき行動や救急法を身につけよう
担当講師	経済経営学部 小野 覚久
専門	運動行動制御、教育法、コーディネーショントレーニング、コーチング、防災教育
講義形式	実技、講義、講話、演習、体験、ワークショップ
講義時間	ご要望に応じて
受講対象	幼児・小学生・中学生・高校生・一般・高齢者・地域・行政・企業
講座概要	1.コーディネーショントレーニング： TVや新聞などでも全国的に度々紹介されている荒木秀夫徳島大学名誉教授の理論によるコーディネーショントレーニング。 身体を介して脳に刺激を与え、知性と感性を伸ばし、人間の潜在能力を引き出すトレーニング。 体力向上、学力向上、認知機能の向上など、さまざまな効果が期待できるトレーニング。理論の講義や実技指導など 2.スポーツコーチング・部活動地域展開： 日本スポーツ協会コーチデベロッパーとしてコーチングの仕方のアドバイスや、部活動地域展開に関するさまざまな課題に対してアドバイスを含めて、課題解決に向けて講義・講話、場合により演習など 3.パラスポーツ： 中級パラスポーツ指導員として、パラスポーツの指導およびパラスポーツ体験など 4.健康教育： 健康教育全般についての講義・講話、体組成測定などを含めた健康アドバイスなど 5.防災教育・救急法： 東日本大震災を中学校教員として経験した体験談、防災士として防災に関するアドバイス、救急法指導員としての短時間での救急法講習や体験など 資格を取得したい場合などには、ご要望に合わせて関係機関と連携して実施します。 備考：

講座No. Ⅸ11	なぜ今『論語』なのか ～日本の伝統文化と儒教の精神～
担当講師	経済経営学部 城山 陽宣
専門	中国思想史、中国儒教史、日本儒教史、東アジア書誌学
講義形式	講義・講話
講義時間	90 分
受講対象	高校生・企業・地域
講座概要	現在、『論語』が再び評価されているといわれています。 たしかに 2000 年代以前の我が国において、『論語』といえば「古 臭い」とか「過去の遺物」といったイメージが持たれ、注目を集めることはありませんでした。 しかし最近では、明治大学の斎藤孝先生など、本来『論語』や儒教研究に無関係の多くの学者・著名人が『論語』に関する著作を発表し、様々な場面で『論語』に学ぶ意義について発言を行っています。 そして『論語』に学ばなければならない理由として、「日本人の国語」や「道徳」教育の側面が強調されていますが、なぜ「日本人が論語を学ばなければならないのか」との問いに対する回答はほとんどなされていないと見受けられます。本講座では、我々・日本人が『論語』を学ぶ理由について、我が国の伝統文化と儒教のかたちから、解き明かしていきたいと考えています。 備考：一般的に『論語』を学ぶと「素晴らしい日本語が身につく」とか「道徳的な人間になる」と言われています。たしかに、そうした意見も間違いではありません。しかし最大の利点は、

	学んだ人自身の人生哲学が、徐々に構築されることにあると考えられます。 「どのように生きたいか」という問いかけは、一見、気恥ずかしいものでもあると思いますが、どのような人であっても、避けて通ることはできないものです。 そうした自身の思想を考察する手始めとして、本講座を受講することを、おすすめしたいと思います。
--	---

講座No. K12-1	製造業におけるサプライチェーンの国際多元化について-アジア地域における国際分業の歴史と現在-
講座No. K12-2	サービス産業の国際化ー食ビジネスの国際展開についてー
担当講師	経済経営学部 伊藤 道大
専門	中国経済と中国企業研究、日本企業の海外展開、国際貿易研究
講義形式	講義（オンライン対応可能）
講義時間	60分～90分
受講対象	高校生・企業・行政・地域・その他
講座概要	講座１：製造業は安価な労働力を求めて主にアジア諸国に工場拠点を求めて海外展開を進めてきたが、米中の対立の影響などもあり、サプライチェーンは多元化が進んでいる。特に東南アジアを中心として、サプライネットワークを構築できるかどうか、各国の事情や展開例を参考に実情を探っていく。 講座２：第三次産業は今や日本の主力産業であるが、日本で培ったビジネスモデルで海外市場に挑戦する企業が増えてきている。特に日本食ブームということもあり、世界各国で日本の外食産業を目にすることも多いが、日本食材の輸出と結び付けてビジネスモデルが成功するのかどうか、事例を見ながら実情と課題を考えていく。

講座No. K13	財布の中身は何処から来て何処に行くのか？
担当講師	経済経営学部 岩戸 謙介
専門	国際経済学、経済政策
講義形式	講義・講話
講義時間	60 分
受講対象	高校生・小中学生
講座概要	高校生や中学生に経済の仕組みのイロハを解説する。 具体的には、経済の３主体の「家計」「企業」「政府」の結び付きを出来るだけ受講者の実体験と結び付けた形で解説することによって、経済経営に対する興味を引き出す。

講座No. K14-1	Viscuitを使った初めてのプログラミング
講座No. K14-2	Scratchを使ったプログラミング
講座No. K14-3	あなたが知らないアラブの世界
担当講師	ペレライン
専門	情報教育、STEM/STEAM教育
講義形式	講義・講話
講義時間	50分
受講対象	1 小学校低学年 2 小学校高学年 3 中学・高校
講座概要	1 タブレットPCを使って、プログラミング（Viscuit）の仕組みや考え方を学ぶ

	2 タブレットPCを使って、プログラミング（Scratch）の基礎的な構造や変数の使い方などを学ぶ 3 中東のアラブ首長国連邦での生活から得たおもしろエピソードを交えて、異文化理解、多様性などについて理解を深める
	備考： PowerPointのスライドが投影できる環境が必要です。 日時は授業の関係があるので、事前に要相談。

健 康 福 祉 学 部 F

講座No. F01-1	共に生きる社会を作るために 福祉心理学への期待
講座No. F01-2	たとえ耳が聞こえなくても 聴覚障害教育の歩み
講座No. F01-3	のけ者を作らない社会を目指して
担当講師	健康福祉学部 中山 哲志
専門	福祉心理学、聴覚障害教育、障害のある子どもに対する支援
講義形式	講義・講話
講義時間	ご相談に応じます
受講対象	高校生・小中学生・地域
講座概要	1 新しい学問として発展しつつある福祉心理学について概説する(理論と実際)
	2 聴覚障害教育の歩みを辿りながら、実際の教育がどのように行われているのかを理解する。
	3 同時代を生きる私たちがどのような社会を目指していくことが大切か考える。

講座No. F02	
担当講師	
専門	
講義形式	
講義時間	
受講対象	
講座概要	

講座No. F03-1	障害をどのように捉えるか ～障害構造論～
講座No. F03-2	統合失調症あるいは自閉症スペクトラム障害の理解と対応
講座No. F03-3	アルコール（薬物）依存症のメカニズムと支援
講座No. F03-4	ひきこもりからの回復 ～メカニズムと支援～
講座No. F03-5	人格障害あるいは神経性障害を理解する
担当講師	健康福祉学部 矢本 聡
専門	障害構造論、精神障害、ひきこもり、発達障害等への地域リハビリテーション、思春期学
講義形式	講義・講話
講義時間	ご相談に応じます
受講対象	高校生・企業・行政・地域
講座概要	精神保健福祉センターや発達相談支援センター等で行ってきた相談支援の実践（事例）を基に、視聴覚教材も使用しながら、障害特性や具体的な支援方法等について述べます。

講座No. 04-1	精神保健福祉士と災害支援
講座No. 04-2	CRAFTを用いたアルコール依存症家族支援
担当講師	健康福祉学部 松田 聡一郎
専門	精神保健福祉、災害ソーシャルワーク、被災者支援
講義形式	講義・講話、演習・体験
講義時間	60分・90分
受講対象	地域・行政・その他（対人支援専門職等）
講座概要	主にふくしま心のケアセンターで東日本大震災と福島第一原発事故被災者への心のケアに従事してきました。また、県内の保健所でのアルコール依存症家族への集団支援も行ってきました。現場での経験を踏まえ、実践に活かせる内容をわかりやすく説明します。
	備考：

講座No. 05	HIV/AIDS の理解と HIV 陽性者への支援 ～共に生きるために～
担当講師	健康福祉学部 清水 茂徳
専門	ソーシャルワーク、医療福祉、障害者福祉
講義形式	講義・講話
講義時間	60分・90分・その他
受講対象	高校生・地域
講座概要	HIV と AIDS の違い、免疫とは何か、感染に必要な条件、検査相談等の HIV/AIDS の基礎知識から、HIV 陽性者への支援について、利用できる社会保障制度、セクシュアリティ、社会的偏見・差別、社会参加の促進といった視点でお話しします。

講座No. 06	ミロのヴィーナスから障害者アートの世界へ
担当講師	健康福祉学部 田中 みわ子
専門	障害学・身体文化論・障害者福祉
講義形式	講義・講話
講義時間	60 分・90 分
受講対象	高校生
講座概要	ヨーロッパの伝統的な美として名高いミロのヴィーナス像。両腕のないその姿に、美しさの所以があるとも言われています。では、皆さんは、ミロのヴィーナスを、障害のある女性像だと考えたことがあるのでしょうか？なぜ、私たちは、ミロのヴィーナスと、障害のある女性を、重ね合わせてみるができる／できないのでしょうか。 本講座では、ミロのヴィーナスを題材に、障害を取り巻く社会や文化の眼差しを問うてみたいと思います。障害とはなにか、考察をめぐらせながら、障害者アートの世界の入り口までご案内します。

講座No. 007-1	シナプソロジーで認知症予防
講座No. 007-2	点字とユニバーサルデザイン
講座No. 007-3	インスタントシニア体験
講座No. 007-4	ワンポイント介護講座
講座No. 007-5	身近なロボット
担当講師	健康福祉学部 金成 明美
専門	社会福祉（介護福祉）
講義形式	講義・講話、演習・体験、ワークショップ
講義時間	60分・90分・120分
受講対象	高校生・小中学生・企業・地域
講座概要	1 シナプソロジーで認知症予防 認知症は 65 歳以上の方の 5 人に 1 人がかかる病気の一つです。シナプソロジーは、脳と全身を運動させて遊ぶことで、活気ある毎日を送れるようになり、認知症発症の予防ができると言われています。この講座では、実際に楽しくシナプソロジーを体験します。
	2 点字とユニバーサルデザイン 誰もが使いやすいことをコンセプトにしたユニバーサルデザインと、視覚に障害がある人の文字「点字」を学びます。
	3 インスタントシニア体験 20 年、30 年後、あるいはそれ以上の将来の世界を垣間見ることになります。 この体験によって「高齢者の視点から社会を観察」することを学びます。
	4 ワンポイント介護講座 家族が介護を必要な状態になった時、一番困るのは移動介助であると言われています。 この講座では、床からの立ち上がり介助、寝返り介助といった基本的介助方法を学びます。
	5 身近なロボット 見守りロボット、会話ロボット、着る筋肉ロボットなど、技術の進歩により保育や福祉の世界にはロボット技術が導入されています。この講座ではロボット技術を活用し、いつまでも自分らしく生活することについて考えます。

講座No. 008	食べることの社会学～栄養学の歴史から考える～
担当講師	健康福祉学部 佐藤 知菜
専門	歴史社会学・教育社会学
講義形式	講義・講話
講義時間	60分・90分
受講対象	高校生、行政・地域
講座概要	栄養学誕生の背景についてご紹介しながら、「食べる」ことをめぐる教育の困難と可能性について考えます。

講座No. ㊦9-1	「認知症の母を見て分かったこと」
講座No. ㊦9-2	「認知症にならないために」
講座No. ㊦9-3	「認知症と笑顔効果」
講座No. ㊦9-4	「脳がもたらす健康」
担当講師	健康福祉学部 志賀 恵子
専門	看護学・認知症ケア
講義形式	講義・講話、演習・体験
講義時間	60分・90分・120分
受講対象	高校生・小中学生・地域
講座概要	1「認知症の母を見て分かったこと」 2「認知症にならないために」 3「認知症と笑顔効果」 認知症 2025年問題をどう乗り越えるか。「認知症」を正しく理解して恐れすぎない。 今いる場所で自分らしく生活をしていくための方法。メディア等では「認知症」の痛ましい出来事が伝えられています。
	4 「脳がもたらす健康」 新型コロナ感染の終息が今だ見えない。私たちはこれまでにない脅威にさらされ生活スタイルも変化しました。コロナ禍で生活のリズムが変化し、その結果、体重増加やうつ傾向になる事例も多く報告されています。このような時代に、人はどのように過ごせばよいのでしょうか。 健やかに生きて行くヒントが脳にあります。

講座No. ㊦10	データサイエンスとはじめ
担当講師	健康福祉学部 西野 勇人
専門	福祉社会学・計量社会学
講義形式	講義・講話、演習・体験
講義時間	ご相談に応じます
受講対象	高校生・企業・行政・その他
講座概要	近年は AI をはじめとして、データサイエンスと呼ばれる取り組みが着目されています。 なんだか難しそうに見えるかもしれませんが、取り組み自体は簡単なことから始めることができます。 この講座では、データサイエンスに関する基本的な 考え方や、簡単な分析について紹介していきます。

講座No. ㊦11	
担当講師	
専門	
講義形式	
講義時間	
受講対象	
講座概要	

子 ども 未 来 科 Ⅱ

講座No. Ⅱ01	地域の防災（教育）を見直そう
担当講師	子ども未来科 田久 昌次郎 / 藁谷 俊史
専門	田久 昌次郎：歯学博士（歯科保存学専攻）
	藁谷 俊史：防災士、NPO 法人福島県防災士会理事
講義形式	講義・講話、演習・体験 ワークショップ
講義時間	ご相談に応じます
受講対象	高校生・小中学生・地域
講座概要	地域防災に焦点を絞って、防災教育のあり方から日常備えておきたい防災対策まで、
	要望に応じて対応します。 講義メニューとしては、
	①自然災害の歴史
	② GIS を使ったハザードマップの紹介と利活用
	③避難所運営ゲーム体験（所要時間：120 ～ 150 分）
	④地域防災の取り組みとクロスロードゲーム（所要時間：120 分時間程度）
	備考：講義形式・時間は事前に相談があれば対応可能です。 概要に提示したメニューは例示であり、地域の防災に関することであれば要望に応えることは可能です。 藁谷講師は、スケジュールの関係上、相当の時間的猶予といくつかの候補日をご連絡下さい。

講座No. Ⅱ02	生活習慣を考える ～虫歯予防の観点から～
担当講師	子ども未来科 田久 昌次郎
専門	歯科保存学、公衆衛生学
講義形式	講義・講話、 ワークショップ
講義時間	ご相談に応じます
受講対象	高校生・小中学生・地域
講座概要	虫歯の予防を、食生活・生活習慣の見直しを中心にお話しします。
	備考：対象は小学生から高校生を想定していますが、成人向けの講話も対応可能です。 ご相談ください。
	ワークショップ型式の場合は最大 30 名程度、所要時間は 90 分を確保して下さい。

講座No. Y03-1	「食」から考える環境問題
講座No. Y03-2	地球温暖化とエネルギー問題
講座No. Y03-3	環境を「守る」ってどんなことだろう
担当講師	子ども未来科 福井 朗子
専門	環境問題、環境哲学
講義形式	講義・講話
講義時間	60 分・90 分
受講対象	高校生・小中学生
講座概要	1 「食」から考える環境問題 日々の食事から日本の農業問題やフードマイレージ、地産地消、食品ロス、ひいては人口問題などについて触れます。
	2 地球温暖化とエネルギー問題 パリ協定が注目される現在、温暖化の仕組み、温暖化の影響、温暖化対策などについて触れます。また、エネルギー問題 と関連の中で原発や再生可能エネルギーについても考えます。
	3 環境を「守る」ってどんなことだろう 環境を「守る」ことにいろいろな立場があることを紹介し、環境を守ることについて、改めて考えます。
	備考：原発に触れる場合は、状況に応じた対応が必要になります。

講座No. Y04	心って何だろう？
担当講師	子ども未来科 森下 剛
専門	教育臨床学・生活指導学
講義形式	講義・講話、演習・体験
講義時間	60 分・90 分
受講対象	高校生・地域
講座概要	講座では、簡単な心理テストを体験してもらい、自分の心の特徴やそこから見えてくる「心のクセ」について理解してもらいます。自分の心を知ることは、他人や子どもの心を知るための第一歩です。

講座No. Y05	保育の仕事と子育て支援
担当講師	子ども未来科 鈴木 隆次郎
専門	保育（子育て支援）、社会福祉、地域福祉
講義形式	講義・講話
講義時間	60 分
受講対象	高校生・小中学生
講座概要	現在、待機児童問題やでクローズアップされている保育士の仕事について、保育所以外にも幅広く勤められる職場についてのお話と、幼稚園教諭と認定こども園の話題も入れながら講義・講話を行います。 また、保育の現場で使われている手作りの教材や、いわき短期大学子育て支援事業として実施している「つどいのひろば」の内容等も紹介します。

講座No. Ⅵ06	始めてみよう WORD
担当講師	子ども未来科 中村 知子
専門	パソコン リテラシー、初心者への Word/EXCEL/POWER POINT
講義形式	演習・体験
講義時間	ご相談に応じます
受講対象	地域
講座概要	WORD 初心者の方への演習を行います。 ・入力 ・編集 備考：会場にアプリケーション（WORD）がインストールされているパソコンがある環境での演習です。 インターネットが使用できる環境があるとさらに効果的です。 受講者人数についてはご相談させていただくことがあります。

講座No. Ⅵ07-1	「子どもの体と心の発達」
講座No. Ⅵ07-2	「絵本が育てる子ども」など
担当講師	子ども未来科 佐野 法子
専門	幼児教育・保育 子育て支援 子どもとお話(子どもと言葉、絵本の読み聞かせなど)
講義形式	講義・講話
講義時間	90分
受講対象	高校生・地域
講座概要	1 「子どもの体と心の発達」 乳幼児期の子どもの発達についてお話する中で、子どもは大人の関わりなくしては育たないことについて事例を通して考えてみましょう。 子どもの感情や心の発達について考えてみましょう。 2 「絵本が育てる子ども」など 現代社会の中で子育ては大変なお仕事です。保護者の大変さを共有しながら、子どもの視点になって関わり方を工夫してみましょう。 絵本の読み聞かせなど児童文化財を利用した子育てについて学びましょう。

講座No. Ⅶ8	「音楽で世界を旅しよう」
担当講師	子ども未来科 長瀬 賢弘
専門	ピアノ演奏、クラシック音楽研究
講義形式	講話、実演、体験
講義時間	1公演あたり20～40分程度を目安に、ご相談に応じます。
受講対象	高校生・小中学生・一般・地域
講座概要	音楽は、人間の情操の根幹のひとつです。現在では情報機器から手軽に音楽に触れる機会が増えましたが、生の演奏を通じた演奏者と聞き手の皆さんとのコミュニケーションは、それらでは得ることのできないものです。 これまでの演奏研究で培った作品や作曲家の講話や、海外での経験・体験談を交えながら、楽しいピアノ演奏のひとつときをお届けします。 備考：ピアノをご用意下さい。具体的なプログラムに関しましては、ヒヤリングの上こちらで選定致します。

講座No. ㉙9-1	子どもが夢中になる運動遊びの指導の在り方
講座No. ㉙9-2	早く走るコツをつかもう！！
担当講師	子ども未来科 中川 希望
専門	幼児体育、体育科教育学
講義形式	講義 演習
講義時間	60分・90分
受講対象	小中学生・行政・地域
講座概要	1 子どもの体力が低下している背景には子どもを取り巻く環境も影響も与えています。 それらの背景を知り、子どもたちが夢中になって遊ぶコツについて学びます。
	2 早く走るコツについて発育発達に合わせた基礎トレーニングや遊びの体験を展開します。

講座No. ㉙10-1	カウンセリングについて知ろう
講座No. ㉙10-2	日常生活でできるストレスケア
講座No. ㉙10-3	子どもの気持ちや行動について考えよう
担当講師	子ども未来科 櫻庭 真弓
専門	臨床心理学、家族心理学、ブリーフセラピー
講義形式	講義・講話、演習・体験
講義時間	40分・60分
受講対象	高校生・小中学生
講座概要	1 カウンセリングについて知ろう カウンセリングでは、悩んでいる人や困っている人の話を聞き、一緒に解決策を考えます。 悩みがあるときや誰かに話を聞いてもらいたいときに、カウンセリングに行きやすくなるよう、カウンセリングとはどんなもので、どのように行われているのかについて解説します。
	2 日常生活でできるストレスケア 勉強や部活、友だちとの関係など日常生活にはストレスがたまるのがたくさんあります。問題にぶつかったり、悩んだときにどういう風に考えたり行動すればストレスがたまりにくくなるのか、どうすればストレスが解消されるのかについて考えます。
	3 子どもの気持ちや行動について考えよう 保育士や幼稚園教諭など子どもと関わる仕事では、子どもの気持ちを読み取ったり、子どもの行動の理由を考えることが大切です。まだ言葉が上手く話せない子どもが何をしてほしいのか考えたり、遊んでいる様子からどんな気持ちなのか考えます。

講座No. Y 11-1	子ども家庭福祉とは何か～子どもの権利と最善の利益
講座No. Y 11-2	地域の中の子育て支援～地域再生の手がかりとして
講座No. Y 11-3	社会的養護～虐待の現実
講座No. Y 11-4	現代日本の見えない貧困～私たちができること
講座No. Y 11-5	怒らない！気になる子どもへのかかわり方
担当講師	子ども未来科 宗政 朱利
専門	社会福祉原理論 児童福祉 貧困問題 特別支援教育・保育 地域福祉 障害者福祉 ソーシャルワーク 子育て支援
講義形式	講義・講話、演習・体験
講義時間	60分（講義・講話形式） / 90分（演習・体験形式）
受講対象	小中学生・高校生・行政・企業・専門機関・地域・その他
講座概要	子どもや子育て家庭を取り巻く現代の課題を、虐待、不登校、いじめ、貧困、ヤングケアラー、家出、非行、DV、などの現象を紐解きながら子どもの権利・子どもの最善の利益についてわかりやすく解説していきます。また、地域子育て支援については「持続可能な地域社会の再生」を地域実践のなかから組み立てていく意義について解説します。「生活支援コーディネーター」の機能や課題についても触れながら、受講者が有効性のある地域づくりについて創意工夫をこらして思考できるように、具体的な事例をもとに示していきます。虐待はなぜ問題なのか。どこからが虐待で、どこまでが不適切な関わりなのか。受講者の心が重くなるテーマですが、子ども家庭福祉の課題の中で「虐待」のみにスポットを当てて、解説していきます。特別支援教育／障害児保育・教育では、「気になる子どもへのかかわり方」をテーマとします。日常の、様々な場面での言葉かけや、良好なコミュニケーションの取り方など、子どもにとってストレスのかからない対応方法について解説します。保護者対応、家族支援の技術、など保育者の専門性に係る内容も含みます。 備考：上記講座以外にも、講師の専門分野に関することであれば、受講者の年齢や立場に即した講座を提供することが可能です。内容も含め、ご相談ください。

そ の 他 **S**

講座No. S 01	講話「スポーツ（サッカー）を通した地域振興の実践経験について」
講座No. S 02	サッカー教室
講座No. S 03	子供たちにレッテルを貼るまい
担当講師	スポーツ局 高田 豊治
専門	サッカー、スポーツを通した地域振興
講義形式	講義・講話、演習・体験、サッカー教室
講義時間	60 分・90 分
受講対象	高校生・小中学生
講座概要	1 スポーツ（サッカー）を通した地域振興の実践経験について J ヴィレッジ創設後の地域振興への貢献について 2 サッカー教室 土曜学習サッカー教室 3 子供たちにレッテルを貼るまい J ヴィレッジにて 2003 年に立ち上げた J.S.C.(J ヴィレッジスポーツクラブ) のクラブメンバー募集時の考え方（問題児 も受け入れる）及びサンフレッチェ広島時代に 5 年間継続して元暴走族の青年たちへのサッカー指導をボランティアとして実施した体験談を交えて、青少年の健全育成に資する内容の話をする

講座No. S02	ミャンマーってどんな国？
担当講師	留学生別科 矢吹 栄子
専門	ミャンマーの民生移管を背景とした学生的心情変化、国際交流、異文化理解、地域活性化
講義形式	講義・講話、演習・体験
講義時間	ご相談に応じます
受講対象	小中学生・幼稚園
講座概要	小中学生あるいは幼稚園生向け
	1 ミャンマーを知ろう→ミャンマーの基本情報・文化の紹介 (祭り、服装、化粧、食べ物、遊び等)
	2 ミャンマー人と話してみよう→初級ミャンマー語講座
	3 ミャンマー人留学生と友だちになろう→留学生との交流（ダンスや簡単な遊び等）

講座No. S02	「観光まちづくりの未来」
担当講師	東洋思想研究所 三浦 健一
専門	観光学
講義形式	講義・講話
講義時間	ご相談に応じます
受講対象	高校生・小中学生・地域
講座概要	観光理論万般に関する講義
	備考：国家資格キャリアコンサルタント及び産業カウンセラーの資格を保有

講座No. S04-1	情報技術による社会問題の解決
講座No. S04-2	地域社会、日本の生き残り戦略
担当講師	地域連携研究センター 鷺 弘樹
専門	情報技術、情報システム、ICT 産業、地域活性化
講義形式	講義・講話
講義時間	60分
受講対象	高校生・行政・地域
講座概要	高校生など若年層向けに、社会における課題解決としての情報システムの話から将来の
	社会参画に向けてのアドバイス、経済社会の理解の仕方を講義したことあり。
	また本地域の歴史や大震災を含む時代背景を踏まえて、どのような生き残り戦略がありえるのか、
	首都圏といわき市が繋がった形でビジネス展開をしている経験から講話をしたことあり。 パネルディスカッション（ワークショップになるか？）の形も経験あり。

講座No. S05-1	情報システム ～ I C T 産業と企業の情報システムの活用～
講座No. S05-2	SCM ～ サプライ・チェーン・マネジメントを具現化するシステム構築～
講座No. S05-3	養蜂 ～ ミツバチから学ぶ共生システム社会の実現～
担当講師	地域連携研究センター 鈴木 雅之
専門	情報技術、情報システム、ICT 産業、地域活性化
講義形式	講義・講話、演習・体験
講義時間	60 分・90 分
受講対象	高校生・小中学生・企業・地域
講座概要	1 情報システム ～ I C T 産業と企業の情報システムの活用～ 私たちを取り巻くコンピューター環境の現状を理解し、社会生活においてコンピューターを上手に利活用するか。また、現状の社会問題を浮き彫りにし、その対応に関する講話。
	2 SCM ～ サプライ・チェーン・マネジメントを具現化するシステム構築～ I C T を活用した事例をもとに、サプライ・チェーン・マネジメントの効果を検証し、取引先との受発注や社内部門の業務供給連鎖を具現化するシステム構築に関する講話。
	3 養蜂 ～ ミツバチから学ぶ共生システム社会の実現～ 小中学生を対象に、ミツバチを軸にした循環型まちづくりの事例を通して、養蜂から学ぶ共生システム社会の実現に関する講話。
	備考：養蜂に関しては、採蜜を通して自然環境からの恵みを体験することが可能です。

講座No. S06-1	防災・減災
講座No. S06-2	環境問題の歴史
担当講師	地域連携研究センター 霜田 宜久
専門	防災・減災、環境
講義形式	講義・講話
講義時間	60分・90分・120分
受講対象	高校生・小中学生・企業・行政・地域
講座概要	1 防災・減災 ・各種災害の発生とそれに対し行政がこれまでどのような対策を講じたのか。 地震、津波、河川の氾濫、土砂災害の歴史と行政の対策の歴史について ・災害に対し住民のとるべき行動について ハザードマップやインターネットなどの情報を活用し、いかに災害から自分を守るか ・被災後の復興について 災害後の行政の復興事業や被災者のり災照明などの支援制度について
	2 環境問題の歴史 ・戦前から昭和30年代までの企業による公害問題 水俣病、イタイイタイ病、四日市ぜんそくといった起業による公害問題 ・昭和40年代以降の高度経済成長期の生活レベルの向上に伴う環境汚染の広域化 国民の生活が「豊かになり、生活排水による河川の汚濁、自動車の普及による大気汚染 ・平成の時代になり、地球規模の環境問題の深刻化 欧米や日本などの先進国だけでなく、中国などの発展により地球規模で環境問題が議論されるようになってきた。具体的には大量のエネルギー消費による地球温暖化や資源の枯渇など地球規模での環境問題を考える時代となった